

保育環境の 工夫

★公立保育所保育環境紹介★

- 保育室
- 手作り玩具
- コーナーの工夫
- 子ども達への情報
- アンケート

保育室

桃見台保育所

登所するとすぐに遊び始める子ども達、おままごとのエリアは、きれいに仕切られていて、ひとつひとつのカゴに写真が貼ってあり、片付けやすくなっていました。布団で作ったソファークマちゃんを抱っこして、リラックス中。。。給食・おやつエリアは、固定ですが、お部屋の狭さも気になりません。トイレ・おむつ交換も子ども達の遊びを中断しないようタイミングを見ながら誘導していました。





手作り玩具

公立保育所提供



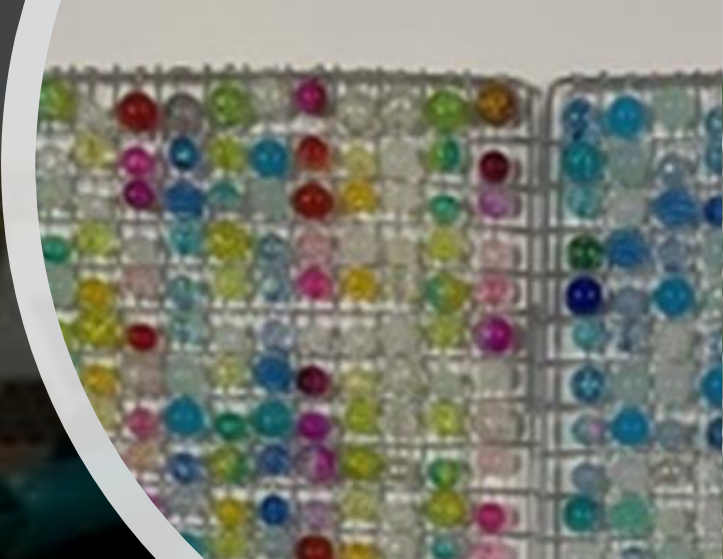
手作りおもちゃのいいところは、子ども達のニーズに合わせて直したり、足したりできるところ。作るのは大変だけれど、子ども達がじっくり遊びこんでくれることで保育士にも余裕ができるように思います。



ミニカー専用道路



メルちゃんセット：おひとりさま用



焼き網に針金を付けビーズを通してあります。キラキラ好きにはたまりませんね。



車や人形、動きのあるおもちゃ、キラキラ感覚刺激・・・子ども達の好みの玩具を見つけて提供することで、子ども達も集中して遊びこむことができますね。スペースを作り、提供の仕方を工夫することで落ち着いて遊べるようになるそうです。

下から転がり出るボールに大興奮！ボール自販機



大人気巻尺カー：勢いよく走ります！

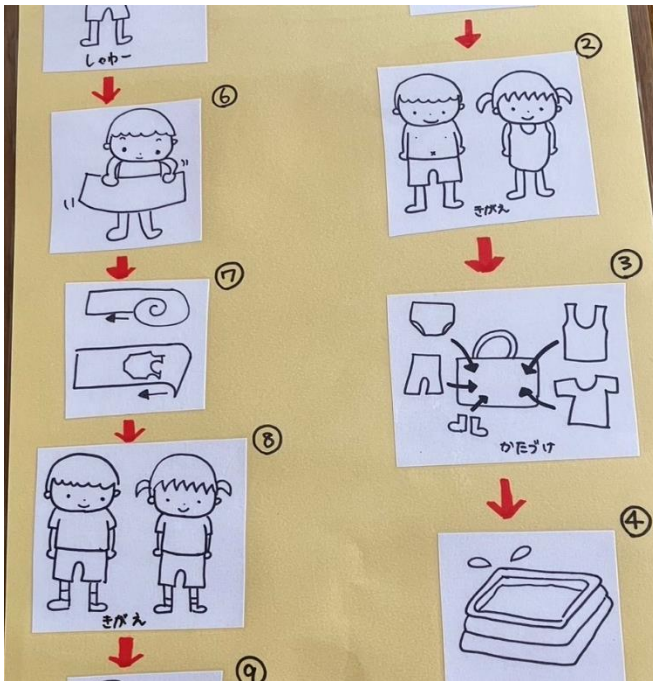
コーナーの工夫

公立保育所



お部屋のコーナーを固定で使っている事例を集めました。段ボールのお部屋の中には、魅力的な玩具が置いてありました。本棚の下の段のプラレールのパノラマはナイスアイデア
固定のおままごとコーナーはお薦めです。ぜひ！





子ども達への情報

今日の予定や、お客様の情報は子ども達の不安解消につながります。活動の合間や、場面が変わる時に騒いでしまう子には、見て理解できる情報が効果的なようです。

片付けるカゴや棚に、工夫があることで、苦手な片付けが得意になります。お試しください。

保育室にさりげなく情報があることで、救われるお子さんがいるかもしれませんね。

保育環境についてのアンケート

保育環境の工夫を始めたきっかけは？

- 子どもの成長、遊びを見て定期的に環境設定していくことが必要と考える他県の保育園に勤めていたこと。
- うまく遊ぶことができず、噛みつきなどのトラブルも多かったことから、じっくり遊びこむことのできる環境の必要性を感じ、玩具を作り始めた。保育雑誌を参考にした。
- 同僚から勧められたこと。同僚のクラスの子ども達がかが落ち着いて遊べていたこと。

環境を工夫して変わったこと

（保育士編）

- これがあったらこんな部分に刺激があり、こんな部分が発達するのでは・・・と考えることで、保育が楽しくなってきた。
- 保育士のねらいと子どもの姿、興味がぴったり合った時、とても嬉しく思う。
- どうしたら落ち着いて遊べるかな？と考え、子ども達の好きな遊びを探っているうちに、その子のことがよく見えるようになった。（興味・関心、好きなことや苦手なこと）
- 子ども達が落ち着いて遊びこんでくれることで、保育士にも余裕ができ、イライラすることがなくなった。

環境を工夫して変わったこと

（子ども編）

- 登所してから、すぐに自分の好きな遊びを見つけ、落ち着いて遊びだすことができるようになった。
- 入所して、保育所に慣れるまでの時間が早いと感じる。いろいろな玩具があることで気持ちが切り替わるため。
- 保育士の後追いが減り、玩具で黙々と遊ぶことができる。
- ものの扱いを覚え、どうやって遊ぶのか理解して遊ぶことができるようになった。
- 情報を見て理解し、不安が減っているように思う。（苦手がなくなるわけではないが受け入れるようになっていく。）

保育環境の工夫で苦勞したこと

- せっかく玩具を作っても、まったくはまらないこともある。
- 材料の調達は結構大変。
- 玩具作りは楽しい作業ではあるが、取り合いにならないよう多めに作るため、ある程度揃えるまでは根性が必要。
- あまり器用ではないので、時間がかかってしまう。（でも、子ども達が喜んで遊んでくれたり、大切にしてくれることが嬉しくて苦勞も吹っ飛んでしまう。）

